

受付	令和 5年 2月 21日
	午前 午後 9時 51分

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月 21日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 湯本辰雄

質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
1 森林の利活用について	高山村の森林は村面積の 85%を超えています。村の森林は杉カラマツで植林から 60 年以上に達しています。しかし、建築材としては価格低迷のため多くの木材は立木のままです。今世界ではSDGsにより、脱炭素社会実現のため森林の活用が呼びかけられていますが、本村の具体策は見えません。脱炭素社会構築への取り組みなど森林の利活用対策を問います。
	質 問 要 旨 と 質 問
	1、先の県知事との対話集会の感想を聞きます。 2、森林の利活用計画に、自然災害防止や保水のため、間伐や広葉樹の育成計画はあるか。 3、村民の雇用促進のために、バイオマス発電や薪炭の生産販売や、わらび温泉の加温事業も行ったらと考えるがどうか。
質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
2 国民健康保険税について	国保は従来から協会健保に比較して「保険料が高い」といわれ、全国知事会等は早期から是正を求めています。本村の国保加入者は 1635 人、そのうち 18 歳以下は 112 人ほど。今年度より未就学児の均等割り 21400 円は半額負担となったが、6 歳から 18 歳までの子供は従来のままです。ロシアのウクライナ侵攻と円安のため諸物価高騰はとどまらない中、子育てには従来からの過大な教育費もあり、大きな負担となっています。子育て応援のために、国保料の軽減を求めます。
	質 問 要 旨 と 質 問
	1、子育て支援策として、18 歳以下の子供の均等割りの軽減を求めます。あわせて、今年から未就学児の均等割り負担が半額になったことについて、どのような考えを持っているのか、尋ねます。 2、全国的には子供均等割りの軽減が広がっています。本村でも 200 万円程度の子算化を行えば、18 歳以下の子供の均等割りを廃止できます。いかがでしょうか。

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。